



平成21年12月11日

各位

会社名 株式会社メガネスーパー  
代表者名 代表取締役社長 足利恵吾  
(JASDAQ・コード3318)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役執行役員 齋藤正和  
財務経理部長  
電話番号 0465-24-3611

## 平成22年4月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年4月期第2四半期累計期間(平成21年5月1日~平成21年10月31日)の業績予想について、平成21年6月12日発表いたしました業績予想との差異及び通期業績予想の修正についてお知らせいたします。

### 1. 平成22年4月期第2四半期累計期間の別業績予想の差異等

#### (1) 第2四半期累計期間(平成21年5月1日~平成21年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想(A)	13,750	426	319	204
今回修正(B)	13,474	248	163	47
増減額(B-A)	△276	△178	△156	△157
増減率(%)	△2.0	△41.8	△48.9	△77.0
(ご参考) 前期同期実績 (平成21年4月期第2四半期)	15,667	△347	△398	△2,849

#### (2) 修正理由

眼鏡等小売市場におきましては、価格表示が均一な低価格専門店(ワンプライスショップ)の伸張や競合企業間の低価格競争の影響により眼鏡等小売市場の縮小が進み、一段と厳しい状況で推移しております。

当第2四半期累計期間における売上高につきましては、販売単価の下落から客数アップを意識した「売り尽くしセール」、「レンズ50%OFFセール」等の施策が功を奏し、第2四半期会計期間はほぼ計画通り推移(計画比100.2%)しましたが、第1四半期会計期間のマイナス分(計画比95.9%)を補えず計画を若干下回る結果(計画比98%)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、全社的な経費の節減等を図りましたが消費者の低価格志向が想定以上に強く、売上総利益率が低下したこともあり、営業利益及び経常利益は計画を修正する結果となりました。

また、当第2四半期累計期間にて社員寮2物件を事業用資産から売却予定資産に用途変更したことに伴い「減損損失」の計上及び「店舗構造改革費用」の計上等により、四半期純利益において計画を修正する結果となりました。

## 2. 平成22年4月期 通期個別業績予想の修正

### (1) 平成22年4月期 通期業績予想（平成21年5月1日～平成22年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	26,540	600	400	170
今回修正 (B)	26,570	440	260	△90
増減額 (B-A)	30	△160	△140	△260
増減率 (%)	0.1	△26.7	△35.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年4月期)	29,422	△257	△433	△3,770

※ (注) 百万円単位は切り捨てております。

### (2) 修正理由

個人消費の低迷を受け、眼鏡等小売業界におきましても、今後も厳しい事業環境が予想されます。

当社におきましては、引き続き再生計画を推進していくとともに顧客の動向や購買心理を踏まえた新販売戦略を打ち出し、売上高の確保に注力してまいります。

しかしながら、営業利益及び経常利益につきましては、第2四半期累計期間の修正額を新販売戦略の効果等で補い切れず当初計画を修正いたします。

また、当期純利益につきましては、第3四半期会計期間以降、店舗閉鎖及び遊休資産の売却を見込むことから当初計画を修正いたします。

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一方の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上